

# 一般質問

(一般質問は2面・3面にも掲載) ※用語解説(下段)



## 在宅看護・介護の充実のため 24時間介護サービスの早急な実施を

公明党 野田 毅

### 24時間介護サービスについて

**問** 24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスは、平成24年度の介護保険法改正により新たに設けられた。施行から1年が経過しても多くの自治体では未実施であるが本市の状況はどうか。

**答** 25年度中の開始を目指し、事業者を募集しているが、人材確保の問題や介護報酬が月額定額制であるにもかかわらず、夜間・深夜の呼び出し対応が中心で採算が取れないと判断され、応募がない状況である。地域包括ケアシステム構築に必要な事業であるため、事業参入しやすい体制を整え、実施できるように努めていきたい。

**問** 実施には、事業に対する理解



## 災害時においても安心して生活できる環境づくりを

新政クラブ 高橋 照雄

### 災害時要援護者の情報の取り扱いについて

**問** 自力での避難が難しい障がい者や一人暮らし高齢者などが登録されている災害時要援護者名簿の作成方法や提供先はどのようなか。

**答** 名簿には希望した人を登録している。毎年、1月1日現在と7月1日現在の2回更新し、本人の同意を得て、自主防災会と民生委員に提供している。

### 災害時要援護者情報を民間団体と共有するため、法律改正の動きがあるが、どのような情報流出の防止策を考えているのか。

**答** 秦野市情報セキュリティポリシーを順守し、電子データにより適切に管理していく。自主防災会



## 市民は早期着工による交通渋滞の解消を望んでいる

民政会 諸星 光

### 国道246号バイパスの整備見込みについて

**問** 国道246号は、交通量が増え続け、慢性的な渋滞が発生し、市内の交通事情にも影響を与えている。市民は、一日も早いバイパスの着工を望んでいるが、国や関係機関にどう働きかけているのか。

**答** 厚木市と伊勢原市の3市でバイパス建設促進協議会を設置し、国土交通省や財務省に出向いて、建設促進に対する要望を行い、県に対しては、早期事業化の支援を請うている。今後も、状況に応じた要望活動を実施したい。

### 生活保護について

**問** 近年の社会情勢に伴い、増え続ける生活保護受給者に対しては、

**答** 委託前に比べ、窓口や電話の対応が良くなり、対応のスピードも上がったほか、短時間での事務処理や資料作成の効率も上がり、経費削減も計画しており進んでいる。



## 子どもたちがいつでも遊びにいける身近なプレイパークの整備を

緑水クラブ 木村 眞澄

### 子どもたちの遊び場について

**問** 子どもは小学校低学年ころまでに自然体験や集団体験などの遊びを通して成長するが、遊びの重要性についての認識はどうか。

**答** 楽しく遊ぶことが生きる力を育むと考えているため、子どもたちが夢中になって遊べる環境を整えていく必要がある。

### 公共施設の耐震化について

**問** 南海トラフ巨大地震が発生した場合、本市は最大震度6弱と想定される。東日本大震災以降、橋りょうの耐震化の必要性が求められているが、今後の耐震化や架け替えの予定はどうか。

**答** 緊急輸送路である富士見大橋の耐震調査と設計を平成25年度に行い、26年度に耐震補強工事を実施する。老朽化が著しい田頭橋は25年度と26年度で架け替え、橋長5メートル未満の小規模橋りょうはボックスカルバートへの構造変更を計画的に行っていく。

**問** 子どもは小学校低学年ころまでに自然体験や集団体験などの遊びを通して成長するが、遊びの重要性についての認識はどうか。

**答** 楽しく遊ぶことが生きる力を育むと考えているため、子どもたちが夢中になって遊べる環境を整えていく必要がある。

**問** 平成25年度から表丹沢野外活動センターに整備するプレイパークの計画はどのようなか。

**答** 泥遊びや穴掘り、自然体験など立地条件を生かして自由な発想で遊びを考えられる場としていきたい。また、子どもが自分の責任で自由に遊ぶためには、プレリーダーの役割が重要と考えている。

**要望** 今後は子どもたちが歩いていける市街地へのプレイパークの整備が必要のため、総合計画次期基本計画などに位置付けてほしい。



プレイパーク予定地に隣接する表丹沢野外活動センター



## 社会的弱者を救うため 就労しやすい環境を整備せよ

日本共産党 佐藤 文昭

### 雇用施策について

**問** 秦野市ふるさとハローワークの職業紹介件数に対する就職率は約15%と低いため、県立西部総合職業技術校を活用してはどうか。

**答** 職業技術校と神奈川西部職業能力推進協議会との連携に協力し、市民の技術校入校に対する支援制度の検討にも取り組んでいきたい。

**問** 生活保護受給者の就労支援の取り組みと職業技術校を活用した就労支援はどうか。

**答** 就労相談員とケースワーカーが連携し、平成23年度では、面接対象者178人に対し、延べ1195回の面接を行い、76人が就職した。また、職業技術校は、検定料などの費用が生じるが、生活保

### 福祉施策について

**問** はり・きゆう・マッサージュ施術成事業が廃止されたが、再開すべきと考えるか。

**答** 利用者を増やすため、工夫改善を図ってきたが、平成22年度の定期監査では廃止の方向で見直すべきとの指摘もあり、24年度で廃止したため、再開の予定はない。

**問** 公益法人化したシルバー人材センターには、補助金ではなく自立できる支援をすべきではないか。

**答** 適正な補助金の在り方について検討を行い、自立に向けた補助金の見直しを推進していきたい。

**意見** 現在2000万円ある未収金を、まず解決すべきである。

### <6月定例会で審議した議案等の議決結果>

議案等番号	議案等名	議決結果
議案第16号	工事請負契約の締結について	原案可決(賛成全員)
議案第17号	動産の取得について	原案可決(賛成全員)
議案第18号	専決処分の承認について (風しんの発生及びまん延防止並びに大雨による災害対応のための予算措置)	承認(賛成全員)
議案第19号	市道の認定について	原案可決(賛成全員)
議案第20号	市道の変更について	原案可決(賛成全員)
議案第21号	秦野市教育委員会の委員の選任について	同意(賛成多数)
報告第3号	平成24年度秦野市一般会計継続費繰越計算書	報告
報告第4号	平成24年度秦野市一般会計繰越明許費繰越計算書	報告
報告第5号	平成24年度秦野市一般会計事故繰越し繰越計算書	報告
報告第6号	平成24年度秦野市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報告
報告第7号	秦野市土地開発公社の経営状況について	報告
報告第8号	公益財団法人秦野市スポーツ振興財団の経営状況について	報告
報告第9号	財団法人秦野市学校建設公社の経営状況について	報告
報告第10号	専決処分の報告について (工作物の設置管理瑕疵に係る損害賠償)	報告
報告第11号	専決処分の報告について (秦野市道路条例の一部改正)	報告
報告第12号	専決処分の報告について (秦野市市営住宅条例の一部改正)	報告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当である旨(賛成)
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当である旨(賛成)
議提議案第7号	少人数学級の推進などによる定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度2分の1還元を求める意見書の提出について	原案可決(賛成多数)
議提議案第8号	最低賃金制度の充実に関する意見書の提出について	原案可決(賛成多数)

### 会議録の検索・閲覧

市議会では、ホームページで会議録検索システムを導入しています。議会だよりでは、紙面の都合上、一般質問や議案審議の要旨しか報告できませんが、会議録検索システムでは、発言のすべてを検索・閲覧することができますので、ぜひご利用ください。(第2回定例会の会議録は、8月下旬からご覧いただけます。)



平成25年4月に開校した県立西部総合職業技術校

### 用語解説

※ボックスカルバート…地中に埋設される箱型の暗きよのことで、道路、水路、通信線等の収容などの用途に使われる。